

# 地域の往診・訪問診療医を知ろう！ 報告

## 近藤内科医院

シリーズ  
第2回

開催日時:2024年2月22日(木)15:00~16:00 会場:姫路市灘市民センター 中ホール



この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、姫路市東山(灘地域)の近藤内科医院 院長 近藤 晃司 医師に、自院の特徴や多職種との連携についてお話しいただき、多職種42名の方々にご参加いただきました。

### ・自己紹介、医院の紹介

開業して24年の地域に根差した内科診療所

### ・往診のある日の1日の流れ

### ・往診、訪問診療や在宅での看取り

本人・家族の希望、満足感を大切にしている

### ・多職種との連携について

本人、家族の希望で入院されたら報告して欲しいです

### ・実際の事例や、新聞記事などの情報共有

介護者のDV、連携が不十分だったケースなど

### ・質疑応答



### 近藤先生から ~ スムーズな連携のために ~

- 1, 連絡方法を確認しておく 緊急時以外は、電話以外の方法(FAX、メール等)が望ましい
- 2, 状況が変化したときは連絡をお願いします  
例:入院中に亡くなられた場合、A病院入院後B病院転医の場合 など
- 3, 報告書は、早めをお願いします 特に6月は、厚生局に集計出さないといけません

**多職種へのメッセージ:**よろず相談受け付けてますので、困った事がありましたらご連絡ください

### 《アンケートより 一部抜粋》

- ・訪問診療をされている先生の具体的な動きや思いの一部を知ることができました
- ・近藤内科医院の訪問診療の条件などを理解することができた
- ・在宅医療が必要と思われる人に、「どうやって訪問診療につなげるか」を考えていましたが、まずは本人やご家族のお話を聞くこと、ご自身で通院できるかどうかなどの確認・アセスメントが大切だと改めて感じました
- ・訪問による医療や看護の提供には、緊急時の時にギャップが起こらないよう本人や家族の思いや方向性をしっかり聞かなければならないと感じました。また、病院と訪問での常識が同じではなく、各家庭の考えを優先して合わせていく必要があると感じました。

次回の「地域の往診・訪問診療医を知ろう！」は、くるす医院 来栖 昌朗先生です。2024/3/14(木)開催予定！